

テロ対策宮崎パートナーシップ推進会議 活動通信 第2号(2017年5月)



世界各地でソフトターゲットがテロの標的！

- ◇ 世界各国において、テロ事件が頻発しており、5月に入ってから、英国のマンチェスターのコンサート会場における自爆テロやインドネシアのジャカルタのバスターミナル付近での自爆テロなど、警備が手薄で大勢が集まる「ソフトターゲット」を狙ったテロが相次いで発生しています。
- ◇ 2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控えた日本においても、今後ソフトターゲットがテロの標的となる可能性が十分考えられます。
- ◇ 警察は、ソフトターゲット対策として、施設管理者に対し、警備員の巡回、防犯カメラの整備、手荷物検査など自主警備の強化、不審者や不審物の通報を働き掛けるとともに、警察の対策として、施設周辺における制服警察官、パトによる巡回など「見せる警戒」を展開し、テロの未然防止を図っていく方針ですので、今後とも『テロ対策宮崎パートナーシップ推進会議』のメンバーの皆さんのご協力をお願いいたします。

ソフトターゲットとは？ → 警備手薄で攻撃容易な場所

- ◇ 不特定多数が入り出し、警備が比較的手薄で、攻撃されやすい標的を指します。軍事施設などを「ハードターゲット」と呼ぶのに対し、大勢が集まる繁華街や観光地、コンサート会場などが挙げられ、誰でも標的となる可能性があります。
- ◇ テロリストにとっては、接近しやすく、一度に大きな被害を出して、世界に強い衝撃を与えられる利点があるため、近年、世界中でソフトターゲットを狙ったテロが頻発している状況にあります。

【世界各地で発生している主なソフトターゲット標的のテロ】

観光地	☆タイ・バンコク中心部のエラワン廟で爆発テロ(2015年8月) ☆トルコ・イスタンブールの世界遺産地区で自爆テロ(2016年1月)
レストラン・クラブ	☆バングラデシュ・ダッカのレストランで日本人を含む人質立てこもり事件(2016年7月) ☆トルコ・イスタンブールのナイトクラブで銃乱射(2017年1月)
イベント会場	☆フランスの劇場やサッカー競技場を襲ったパリ同時テロ(2015年11月) ☆英国・マンチェスターのコンサート会場で爆発テロ(2017年5月)
空港・駅	☆ベルギー・ブリュッセルの空港や地下鉄駅で爆発テロ(2016年3月) ☆トルコ・イスタンブールのアタチュルク空港で自爆テロ(2016年6月)

事例紹介：宮崎県LPガス協会との合同対処訓練の実施【4月13日】

- ◇ テロ対策宮崎パートナーシップ推進会議のメンバーである宮崎県LPガス協会会員に対して、警察本部警備部警備第二課員によるテロ未然防止講話を実施し、引き続き、LPガス施設内での不審物件を想定した合同対処訓練を実施しました。
- ◇ 本講話及び訓練の実施により、LPガス協会会員等のテロに対する危機意識の醸成を図るとともに、テロ未然防止に向け、更なる連携の強化をお願いしました。
- ◇ 今後要請があれば、他のメンバーの方々の所にも警察が講話や訓練で出向いて、テロが発生した際の連携方法等を確認しながら、メンバーの皆さんとの連携を更に強化していきたいと考えておりますので、是非事務局に連絡をお願いいたします。

事務局：代表電話 0985-31-0110 (内線5731・5792)



「官民一体となったテロ対策」で、安全・安心の街作りを！